

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月6日（18:15～20:15）

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 小福田、山本、三崎、近藤、渡邊、出原、山田さ、井上、津嶋、松本、前原、和田、赤松、山田あ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	2人	12人	0人	1人	15人

前回の改善計画

- ・ご本人だけではなくご家族とも可能な限りコミュニケーションを図り、相談しやすい関係づくりに努める。
- ・初回利用日の様子を職員全員が把握する為、利用初日の様子を夕礼の議題に挙げ、当日の様子について詳しく申し送りをしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・送迎時や電話対応時など、ご家族とコミュニケーションを図ることが出来る機会を利用しながら、相手にとって話しやすい関係になれるよう努めた。
- ・初回利用時の様子について夕礼時に話し合いが行われるが、当日出勤ではない職員が申し送りノートを確認した際に、情報量が足りない事もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	12	1	0	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2	9	3	1	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	2	11	1	1	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	0	11	2	2	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・フェイスシートやアセスメントシートを各自が事前に目を通しておくことで、職員同士がお互いに不明な点等の確認しあうようにしていた。
- ・直接、ご家族と会う事の出来ない方でも連絡ノートを活用し、情報の共有やご本人やご家族の意向を確認することが出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・初回利用時の様子について、口頭では職員同士で意見交換を行っていたが、申し送りノートへの情報記入が足りてない事もあった。
- ・家族が求める支援について行おうとしても、利用期間が短い方はコミュニケーション不足やご本人の拒否で行えない事もあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・初回利用時の様子について、『食事』『入浴』『排泄』等それぞれ関わった職員が、その時の様子について申し送りを行い、細かい情報についても職員間で共有をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月6日（18:15～20:15）

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 小福田、山本、三崎、近藤、渡邊、出原、山田さ、井上、津嶋、松本、前原、和田、赤松、山田あ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	9人	4人	1人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・日常会話を通じて、ご利用者の『したい事』や『好きな事』などを把握していく。情報を元に行事を計画するなど、個別支援の向上を図る。 ・個々と関わる時間を増やし、ご利用者の本意を聞き出せるよう心がける。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者から「ゲーム(レクリエーション)がしたい」「ドライブに行きたい」等の意見が聞かれた際は、日々のアクティビティや行事に取り実践した。 ・『業務優先でゆっくり話すことが出来ていない』という意見も多かったが、入浴時や送迎時など1対1になる時間を利用し、本人の話をゆっくり聞くようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	2	8	4	1	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	11	3	1	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	10	4	1	15
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2	8	4	1	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・『したい事』『やりたい事』が具体化されている方や自分の意見がしっかりとと言えるに対しては、実現できるように日々のアクティビティなどに取り入れた。 ・コロナ禍で控えめになっていた集団でのレクリエーションが、ご利用者の「したい」の声をきっかけに、少しずつではあるが再開した。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人との関わりが少なかったのか、本人の声にならない声を職員間で共有し言語化できないケースもあった。 ・業務に追われコミュニケーション不足になってしまうこともあった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの中からご利用者の「～したい」に結び付くような行動や言葉を見つけていき、個別支援(ケアプラン)や行事に取り入れていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月6日（18:15～20:15）

3. 日常生活の支援

メンバー 小福田、山本、三崎、近藤、渡邊、出原、山田さ、井上、津嶋、松本、前原、和田、赤松、山田あ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	10人	2人	1人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・夕礼ノートを活用しながら日々の変化を把握し、状況に応じた支援を検討し実施していく。・「できること」「喜ばれたこと」に加え、ご本人の興味関心を示したことについてもしっかりと申し送り、ご本人の理解を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・夕礼ノートには日々の変化がよく記載しており、各職員が情報共有のツールとしてしっかり活用出来ていた。また、その情報をもとに、必要に応じた支援の提供が出来た。・出来ていない事や困っている事に目が向くことが多く、『出来る事』や『喜ばれた事』の申し送りがあまり出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	2	9	4	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	10	0	1	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	7	6	1	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	10	0	1	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	11	1	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・その日に起きた変化や気づきについて夕礼で申し送りを行い、看護師と連携し支援方法の変更など柔軟に対応した。・体調の変化については、看護師と連携し必要に応じて医療機関に相談をしたりしながら対応した。送迎時や訪問時に体調が急変していたケースもあり、救急車の要請を行ったり同行受診の対応なども行った。・予定提供時間外でも、必要な場合は訪問支援として安否確認などの支援を行った。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・体調面など目に見える変化については敏感に察知し申し送りや対応が出来ているが、声にならない声についてはコミュニケーション不足もあり、言語化出来るまでの情報収集が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・ご家族ともしっかり連携をとる事で、職員が知る事が出来ない事業所外での様子や精神面等についての把握に努める。・日々の関わりの中でご利用者それぞれの生活スタイルを理解し、『出来る事』『出来ている事』を生かした支援を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月6日（18:15～20:15）

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 小福田、山本、三崎、近藤、渡邊、出原、山田さ、井上、津嶋、松本、前原、和田、赤松、山田あ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	11人	2人	2人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> 引き続きかたらいカード（事業所の連絡先を記載しているもの）を活用したり、送迎時や訪問時の挨拶をしながら地域との繋がりを続けていく。 今の暮らしに必要なキーパーソンを把握し、必要に応じて連絡を取り合いながら情報共有していく。 地域資源について、新たに得た情報があればその都度報告していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> 訪問時や送迎時など、地域の方から声をかけられた際にかたらいカードを配布した。その結果、事業所が関わらない時間帯の情報を伺えることもあった。 会議で地域資源の重要性を定期的に伝え、改めて職員にも地域資源の重要性を感じてもらおうようにした。その結果、前年度に比べ職員からの地域資源に対する情報提供も増えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	11	2	2	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	12	1	2	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	8	5	2	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	5	6	4	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 職員が地域との繋がりの重要性について理解し、地域の方への挨拶や連携をとるよう意識して行った。 送迎時や訪問時の地域の方への挨拶は必ず行うようにしている。 支援時間外の生活スタイルについて、キーパーソン(家族など)から情報収集し把握に努めた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 感染症の影響にてボランティアの受け入れを中止している為、ボランティア活動を通じた地域交流はまだ難しい状況にある。 地域資源については地域によって把握が難しく、上手く活用できていない方も多。また、そういった方には事業所のみでの支援になってしまう傾向にあり、地域との繋がりが困難になっているケースもある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> かたらいを利用している事を周囲の方に知っていただく為に、繋がりのある方に対してかたらいカードを配布する。事業所を知っていただく事で連携が取りやすい体制作りを目指す。 地域資源の重要性を職員が把握し、情報収集や活用に繋げていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月6日（18:15～20:15）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 小福田、山本、三崎、近藤、渡邊、出原、山田さ、井上、津嶋、松本、前原、和田、赤松、山田あ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	10人	2人	1人	15人

前回の改善計画

- ・その時の状況、ニーズに合わせた支援を検討し、柔軟に対応していく。
- ・申し送りノートに疑問に思った事や困っている事も記載しながら、ノートの充実化を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・体調やご家族の都合などで支援内容の変更希望があった場合はケアマネに報告し、小規模多機能の特有を生かし必要に応じた支援へ柔軟に対応した。
- ・申し送りノートの活用について、疑問に思っている事の記入は以前より増えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3	7	3	2	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	5	9	0	1	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	6	7	1	1	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6	8	0	1	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・支援内容の変更希望があった場合は、理由を確認し状況に応じた支援に変更し対応した。
- ・毎月のモニタリングや月1回の会議を通じて、個々のご利用者の状態を把握し必要な支援が行えているかの確認を行った。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域との関わりの中で、事業所の支援が始まると、今まで関わってくださっていた地域の方との距離が少し離れることもあった。（地域の方が事業所に任せようという気持ちに変わってしまう為）
- ・地域資源の活用が十分に出来ていない。（地域資源についての情報不足）

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・各職員がご利用者一人ずつの現状を正確に理解し、日頃から小さな変化に気付けるような視点を持つ。また、緊急時やイレギュラーな状況に対して臨機応変な対応ができるよう、研修を受けたり他職員の対応を確認する等して学んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月6日（18:15～20:15）

6. 連携・協働

メンバー 小福田、山本、三崎、近藤、渡邊、出原、山田さ、井上、津嶋、松本、前原、和田、赤松、山田あ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	11人	2人	1人	15人

前回の改善計画

- ・小さな体調の変化を見落とさず、看護、介護で連携をとりながら支援していく。
- ・コロナ禍でも再開されつつある地域での活動やイベントを把握し、参加可能な活動を見つけしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・かたらい内の多職種連携だけではなく、同行受診や担当者会議を通じて他の事業所との情報共有も行い、色々な視点からの情報共有に努めた。その結果、事業所同士の連携も密に行え、「かたらいで〇〇してもらえたのが嬉しかったと言っていました。」等の情報もいただき、個別支援に繋がるケースもあった。
- ・地区の情報誌や掲示板から参加可能な地域活動を見つけ、職員も一緒に参加したり送迎を行う等の対応を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	5	4	6	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	3	3	9	15
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	6	3	6	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	5	4	6	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・サービス担当者会議を通じて、他事業所との意見交換を行えている。
- ・感染対策に考慮し実施方法を検討することで、近隣の保育園や小学校からの訪問も再開された。
- ・同一敷地内事業所（ケアハウスかがやき）を平行して利用されている方に対しては、ケアハウス職員と密に連携を取り緊急時の対応など、同一敷地内事業所特有の支援を展開できた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・事業所の地域推進委員会には地域包括支援センターの方は参加していただいているが、こちらから自治体等の会議には参加出来ていない。
- ・地域のイベントに参加出来る方がまだまだ少ない現状にある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・参加可能な地域活動を見つけ、どう支援したら地域活動へ参加できるか、会議や夕礼等を通じて話し合い参加に繋げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月6日（18:15～20:15）

7. 運営

メンバー 小福田、山本、三崎、近藤、渡邊、出原、山田さ、井上、津嶋、松本、前原、和田、赤松、山田あ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	9人	1人	2人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">今年もアンケートを実施し、ご利用者やご家族からの意見を職員間で共有していく。地域推進委員会など地域から出た意見を会議で議案として挙げ検討していくことで、地域に必要とされる事業所を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">アンケートを配布したご利用者全員からのアンケートの返答が聞かれた。アンケート結果には具体的な意見も聞かれ、支援に反映する事案もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか？	0	3	9	3	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	9	1	1	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	7	3	2	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	2	3	8	2	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">定期的な地域推進委員会の開催も出来ており、会議では地域の方の意見も聞く事が出来ている。ご利用者やご家族から出た意見に関しては当日中に職員間で共有し、苦情に対応するよう取り組んでいた。	

できていない点	200字以内で、出来ていない事と、その理由を記入する事
<ul style="list-style-type: none">ご利用者と地域の関わり方には個人差があり、連携が取りづらい方もおられる。（年をとってから子どもの家に同居され始めた方、近隣の方との付き合いが元々少なかった方など）	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">今年もアンケートを実施し、ご利用者やご家族からの意見を職員間で共有していく。地域推進委員会など地域から出た意見を会議で議案として挙げ検討していくことで、地域に必要とされる事業所を目指す。新規の問合せや相談のご連絡に対して、事業所内の他部署とも連携を図りながらご利用者の状態に合わせた支援が選択できるように努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月6日（18:15～20:15）

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小福田、山本、三崎、近藤、渡邊、出原、山田さ、井上、津嶋、松本、前原、和田、赤松、山田あ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	2人	7人	5人	1人	15人

前回の改善計画	
	<ul style="list-style-type: none">岡山県小規模連絡会の研修に参加し、他事業所での取組みを勉強したり個人のスキルアップに繋げていく。ヒヤリハット、問題改善報告書が挙がった際には当日の夕礼で議題にあげ、対応策を即座に検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	<ul style="list-style-type: none">小規模連絡会の研修について、テーマによって参加する職員を決め毎回、参加することが出来た。ヒヤリハットや問題改善に対する話し合いを当日の夕礼で行ったり、月1回の会議で改めて話合う事で職員全員が振り返りを行い、対策をとることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1	8	3	3	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	4	7	15
③	地域連絡会に参加していますか	0	4	2	9	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	9	2	2	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">事業所内で行っている研修を通じて、日々の業務の振り返りや知識の向上に取り入れている。小規模連絡会の研修に参加し、スキルアップだけではなく、同じ小規模多機能の職員同士で事業所内の様子や取組みなどの情報交換も行えた。ヒヤリハット、問題改善についてその場を対応した職員だけでなく、改めて月1回の会議で振り返る事で、全員で振り返ることが出来た。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">小規模連絡会の研修について、参加者が口頭で研修に参加した感想などを個別に伝える事はあったが、研修後のフィードバックを行う機会を設けていなかった為、全員に周知が出来ていなかった。ヒヤリハットや問題改善について、当日の夕礼で議題に挙がっているが、夕礼に参加出来ない職員の意見を聞く事が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">小規模連絡会の研修に参加しフィードバックする事で職員全体の知識の向上につなげていく。また他事業所の方との交流(情報交換)の機会にしていく。ヒヤリハット、問題改善がでた場合、当日の夕礼や会議で議題に挙げて対応方法などを検討する。また、夕礼に参加出来ない職員も夕礼ノートに意見を上げていくようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月6日（18:15～20:15）

9. 人権・プライバシー

メンバー 小福田、山本、三崎、近藤、渡邊、出原、山田さ、井上、津嶋、松本、前原、和田、赤松、山田あ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	10人	0人	1人	15人

前回の改善計画
・法人内研修などを受ける事で「虐待」「身体拘束」「プライバシー」についての再確認を行い、自己を振り返る。 ・自分をご利用者やご家族の立場に置き換えて考え、『自分だったらこうしてもらいたいたくない』という思いを持って対応していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・個々が法人内の研修に参加し、自己の振り返りを行えた。 ・自分の立場に置き換えた声かけが出来ていたと思うが、業務に追われている時に意識が薄れてしまうことがあったとの意見も聞かれた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	7	8	0	0	15
②	虐待は行われていない	10	5	0	0	15
③	プライバシーが守られている	5	9	1	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7	6	0	2	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	8	0	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・「ちょっと待って」という声かけの後に、フォローの声をかける事で言い放しにならないようにしている。 ・研修を通して理解を深めながら、自身の行動を振り返るようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・業務の忙しさに追われ、プライバシー配慮への意識が薄れてしまうことがある。また、次の対応がある時に、『早く伝えたい』という気持ちが先走ってしまう。 ・言葉使いについて、配慮が欠けてしまうことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・職員間の口頭での情報共有の際、個人情報が含まれていることもあるので、話をする場所や声の大きさに配慮する。 ・利用者の立場に立った行動を行うようにする。 ・支援するにあたり、他職員の気になった言葉がけや行動を見つけた際には、その都度職員間で声をかけあい自分を振り返るようにする。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 幸輝会	代表者	国富 隆夫	法人・事業所の特徴	・「ご利用者の自立を目指して、必要な手を差し伸べよう」を事業目標とし、ご利用者がいつまでも住み慣れた地域で暮らしていけるよう、一人ひとりに合わせて「通い」「訪問」「宿泊」といった各サービスを検討するように心掛けています。生活や暮らし全体を通して『困っていることは何か?』『生活を成り立たせる為に必要なことは何か?』を見極め、柔軟なサービス提供を行っています。
事業所名	かたらい	管理者	小福田 由香		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	8人	0人	0人	1人	0人	4人	0人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	アンケートを実施し、自己の振り返りを行っていく。	・アンケートを実施し、ほぼ全員の返答があった。お褒めの言葉や感謝も多かったが、具体的な改善案の記入もあった。	・今回の事業所評価について、具体的な内容になっていたと思う。一つ一つ取り組む内容を細かく刻んで決めて改善し続ければ、良い事業所になっていくと思う。	・ご利用者へのアンケートと事業所自己評価を実施することで自己の振り返りを行い、業務改善に繋げていく。また職員の資質向上に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	・事業所の設備に不具合がないか定期的に点検や修繕をし、過ごしやすい生活空間を作る	・生活場面において、不備等に関しては各職員が管理者へ報告し、ご利用者にとって過ごしやすい空間になるよう取り組んだ。 ・共同スペースを広く使用していただけるよう、家具やテーブルなどの配置を変更し工夫した。	・季節感の感じる掲示物がたくさんあり、明るく過ごしやすい工夫をしていると感じた。	・引き続き事業所の設備に不具合がないか定期的に点検や修繕をし、過ごしやすい生活空間を作る。
C. 事業所と地域のかかわり	・ご利用者の生活してきた環境を理解し、地域との関係性を継続できるように支援する。	・地域との関係性が途切れないよう、ご利用者と一緒に地域活動に参加したり、ご本人との関わりが深い方に事業所の連絡先を書いた『かたらいカード』を手渡した。その結果、事業所が関わらない時間帯の生活状況を教えて下さる方もいた。	・介護相談を当事業所で受けた方から「こちらの事業所系列のサービスだけではなく、自分に合ったサービスをきちんと紹介してもらえた」と喜びの声を聞いた事がある。引き続き地域にとって相談できる事業所であってほしい。	・送迎時や訪問時に地域の方と出会うことがあれば挨拶を行い、ご利用者が当事業所を利用していることを知っていただく。 ・必要に応じて『かたらいカード』を手渡し、ご利用者だけでなく地域の方でも気軽に事業所へ連絡出来るようにしていく。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も可能な範囲で外出行事を計画するとともに、季節感のある行事内容やレリエーション活動を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の回数も増え、感染対策をとりながら外出行事も行った。日々のアクティビティもカラオケやトランプ等の遊びも再開し、ご利用者からも喜びの声が聞かれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は近くの保育園の運動会にご利用者と参加されていた。とても嬉しそうに観戦されていたのを覚えています。ここ数年コロナもありご利用者の参加は難しかったと思いますが、今後も参加可能な行事があれば参加して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加可能な地域行事を回覧板や地域の掲示等を確認しながら把握し、参加に向けて送迎を行ったり、必要ならば一緒に参加していく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議で出た意見を職員間で共有する。また、地域課題を知る為の情報共有の場にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な推進会議も実施ができ、地域のかたから様々な意見を聞く事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと地域同士の情報共有の場で活用できたらと思う。 ・会議自体は意見交換もでき、いい取り組みになっていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の活動状況や実績の報告に加え、委員の皆様との意見交換ができる会議を運営していく。また、地域の方が興味のもてるテーマを検討し、実施に繋げていく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と話し合いを進め、避難時の受け入れ可能人数等、対応可能な範囲を具体的に示していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域推進会議等を通じて、災害時の具体的な避難に関する話が進んでいる。今後も具体的なBCPの作成に繋げていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間帯の避難手順など、ケースに応じた避難方法を教えてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPの読み込みを行い、マニュアルに沿って各自が行動できるようにしておく。また訓練や研修にも参加していく。

